

# ならやま・ビオトープ池の生き物 (2015年)



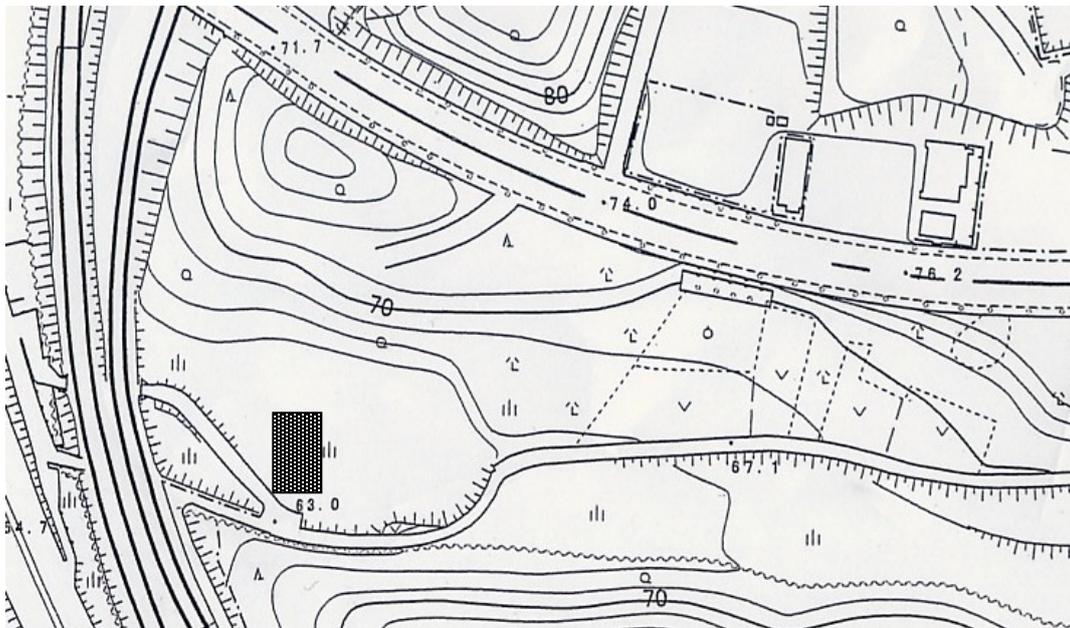
奈良・人と自然の会

## 目的

ならやまベースキャンプ地の荒れた湿地（昔は水田）の泥を取り除いて改修したビオトープ池にどのような生き物が飛来し、繁殖するかを明らかにするとともに、このビオトープ池がよりいっそう生き物豊かな池として維持保存し、子供達の環境教育にも活用する。

## 場所

奈良市佐紀町



ビオトープ池：東西 10 m×南北 16 m

2010年4月、ユンボで泥と湿地性植物をさらえ、下層の粘土を露出するようにした。

## 調査方法

- ・ ならやま池の東、西、南、北、中央部の深みの5箇所において、30×30×28 cmの三角網でほぼ1m 方形程度の面積の池底をさらうように掬い取りを行った。
- ・ 冬季の池の泥浚い後、4月から2016年の1月まで2～3週間毎に生息調査をおこなった。

## 一般管理

- ・ 1月下旬～3月上旬の間、水を落として池の泥さらえを行った。
- ・ 水管理はやや深め（40 cm）になるよう維持し、アオミドロに関しては発生に応じ、掬い取り除去を行い、密度増加を抑えた。
- ・ ならやまでのイベントにおいて、子ども達に対し生き物の観察を実施した。

## 調査結果

1. 池面上の昆虫の見取り調査は実施しなかったが、前年に比べてイトトンボ類、シオカラトンボ類、アメンボ類の発生は非常に少なかった。
2. 観察された生き物の種類数は前年よりも少なかった。ならやま池で繁殖するエビ類、ミミズ類は多かったが、外部から飛来する昆虫類は種類数、個体数とも少なかった。

### 水中掬い取り調査で確認された生き物

グループ	種 類
魚 類	ドジョウ、シマヒレヨシノボリ
環形動物	ミミズ類、
貝類	カワニナ、タニシ
両棲類	オタマジャクシ (ヌマガエル)
甲殻類	アメリカザリガニ、スジエビ、ミナミヌマエビ、ミズムシ
トンボ目	イトトンボ類、ギンヤンマ類、アカネ類
カゲロウ目	フタバカゲロウ類
カメムシ目	エサキコミズムシ、ハイイロチビミズムシ、マツモムシ、コマツモムシ、ヒメアメンボ、ヒメイトアメンボ、シマアメンボ
甲虫目	ハイイロゲンゴロウ、ヒメガムシ、イネミズゾウムシ
ハエ目	ユスリカ類

#### 1、ドジョウ

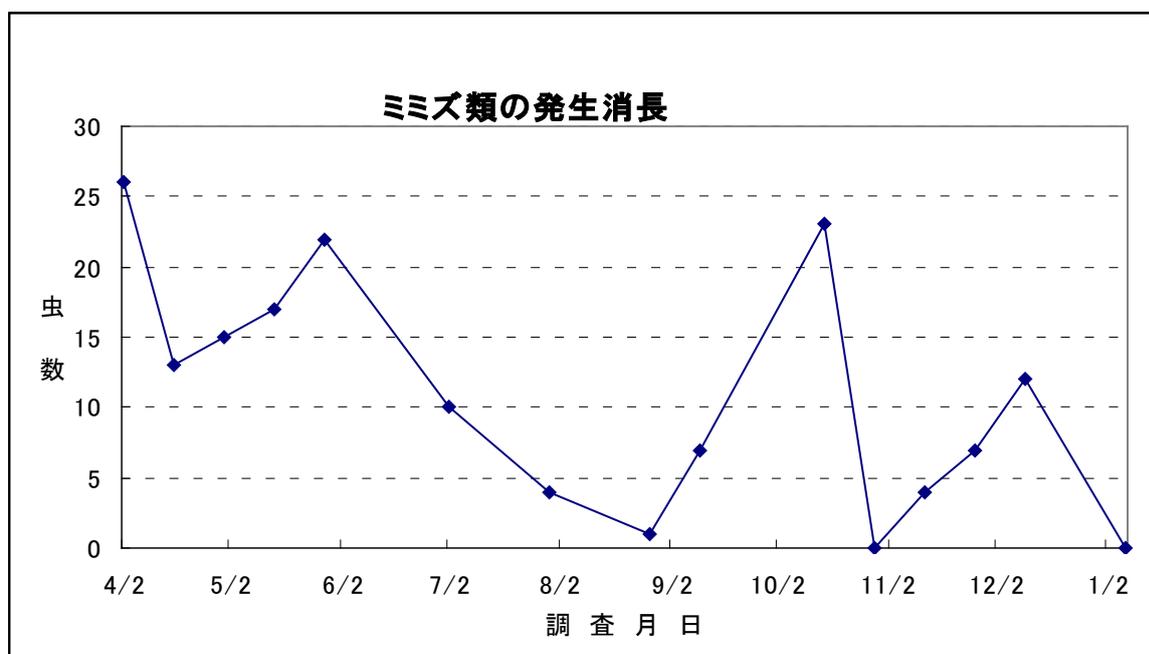
- ・ 4～11月に散発的に見られた程度で、前年よりも少なかった。

#### 2、シマヒレヨシノボリ

- ・ たなご池から流出したと思われる個体が 7/2 に 1 頭見つかった。

#### 3、ミミズ類

- ・ 調査期間中常に発生が認められたが、前年に比べかなり少なかった。
- ・ 分布は池全体に見られ、調査地点による差異はほとんどなかった。



#### 4、オタマジャクシ (ヌマガエル)

- ・ オタマジャクシは前年同様に 5 月 14～7 月 2 日に見つかった総数は僅か 8 頭であった。ヌマガエルは 9 月、11 月に見つかった。

#### 5、ミズムシ類

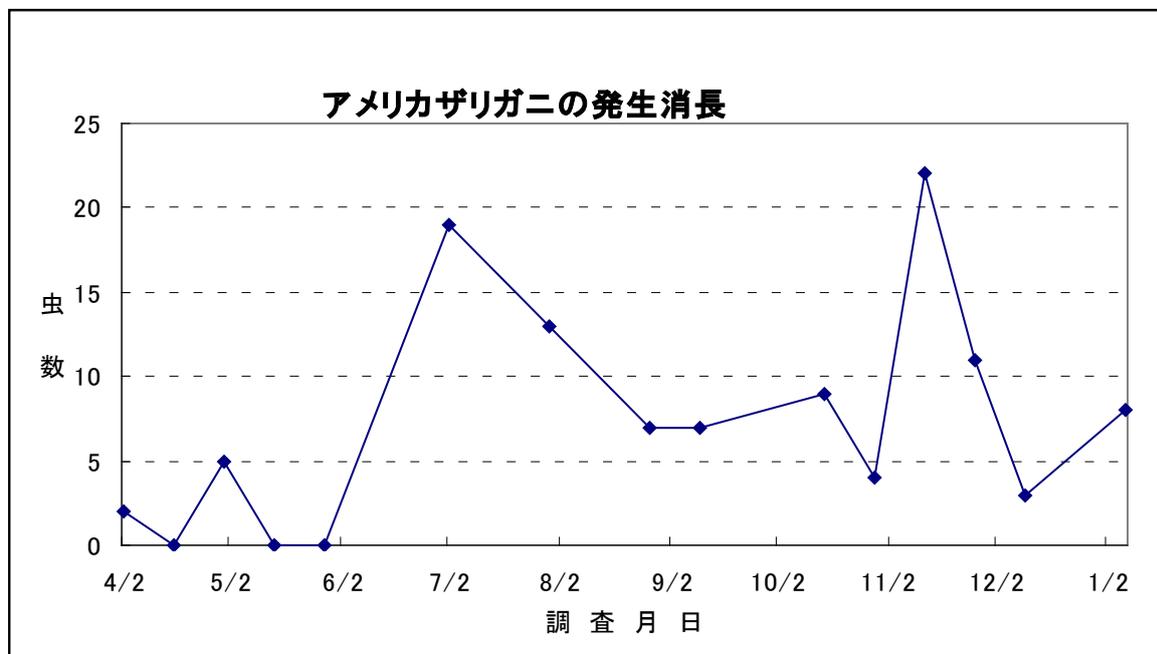
- ・ 4 月 2 日、4 月 16 日に各 1 頭見つかったのみであった。

#### 6、ヒメタニシ

- ・ 前年は 10 月に 3 頭見つかった程度であったが、本年は周年発生が見られ、10～11 月に最も多く、総数で 19 頭見つかった。

#### 7、アメリカザリガニ

- ・ ほぼ周年発生が認められ、発生ピークは 7 月と 11 月であった。
- ・ 調査地点別では北が多く、南と池の中央部は少なかった。



#### 8、マツモムシ

- ・ 周年発生は見られたが、発生ピークも判然とせず少なかった。

#### 9、ハイイロチビミズムシ

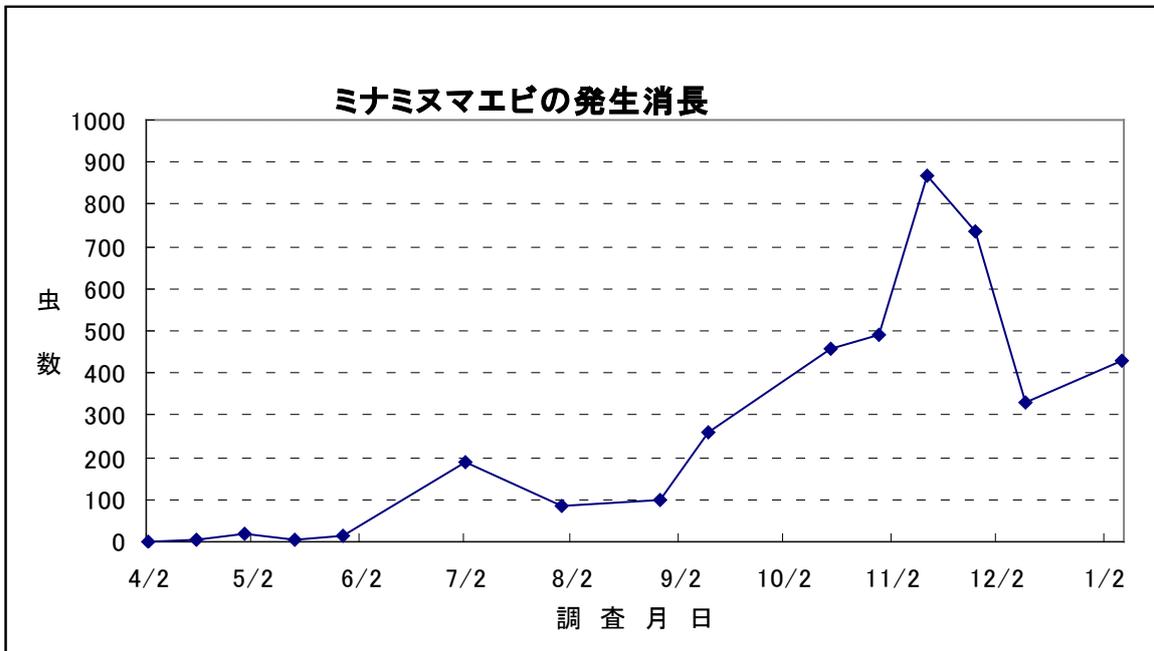
- ・ 7 月 2 日に 11 頭見つかった。

#### 10、オオミズムシ

- ・ 7 月 30 日に 2 頭、11 月 12 日に 1 頭のみ見つかった。

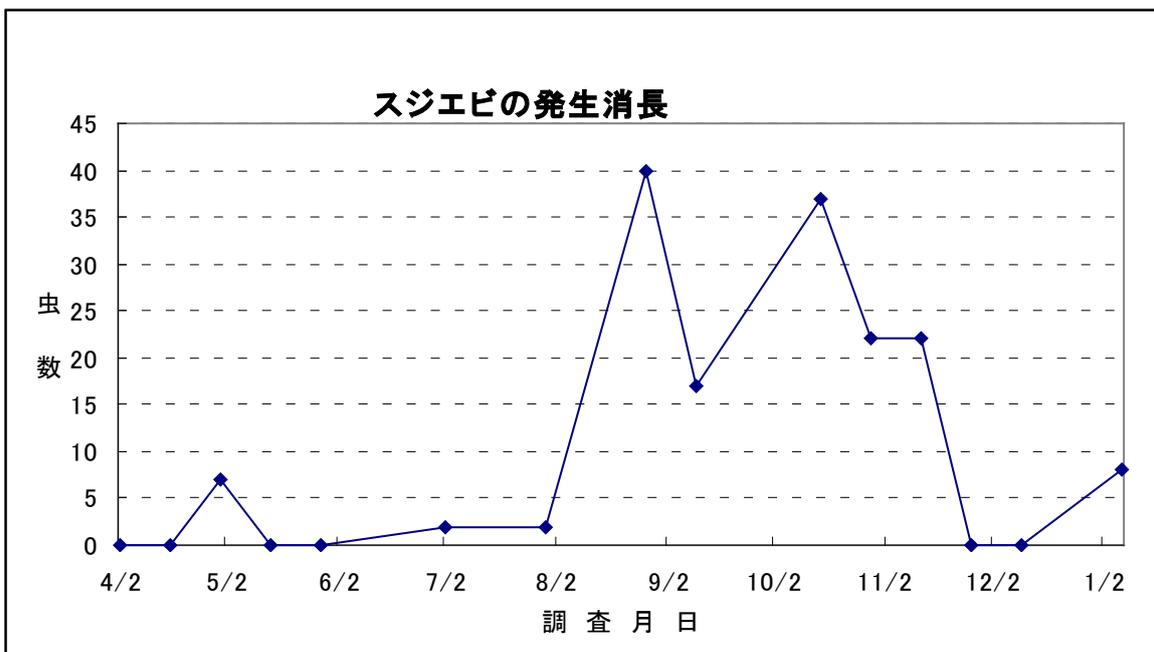
### 11、ミナミヌマエビ

- ・ 冬季に行った池の泥さらいの影響か3～5月の発生は少なかったが、7月以降急増し12月まで発生量は多かった。発生ピークは11月であった。
- ・ 調査地点別の発生量は9月までは周辺部が多かったが、10月以降は池の中央部の深みが非常に多かった。



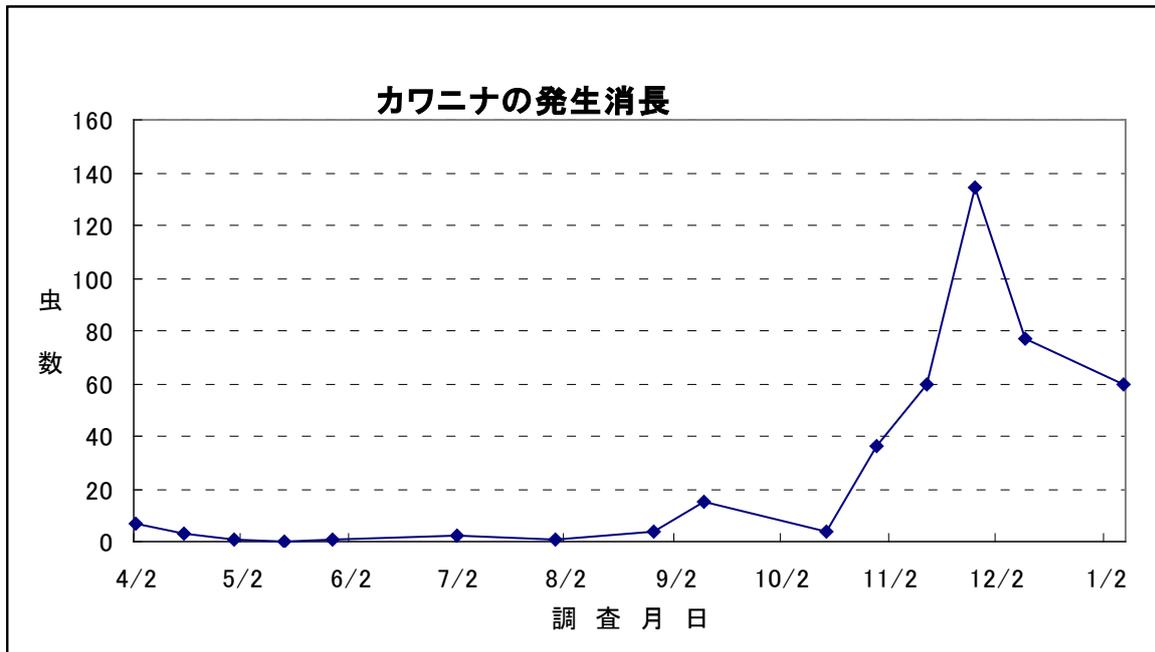
### 12、スジエビ

- ・ ミナミスジエビに比べると発生量は少なかったが、前年とほぼ同じであった。
- ・ 発生量は8～11月に多かったが、11月後半から急減した。地点別差異は少なかった。



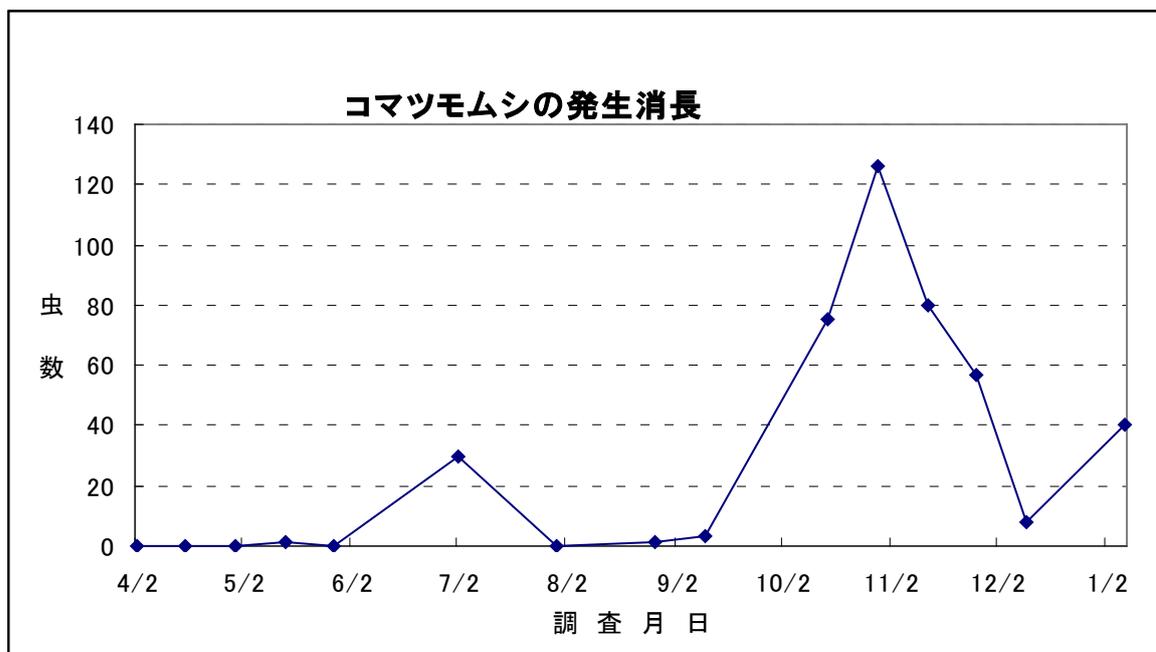
### 13、カワニナ

- ・ 4～10月の発生は少なかったが、11月後半から急増し11月下旬にはピークに達した。
- ・ 地点別では、西側（アシが多い）が最も多く、ついで南面（水の出口）が多かった。



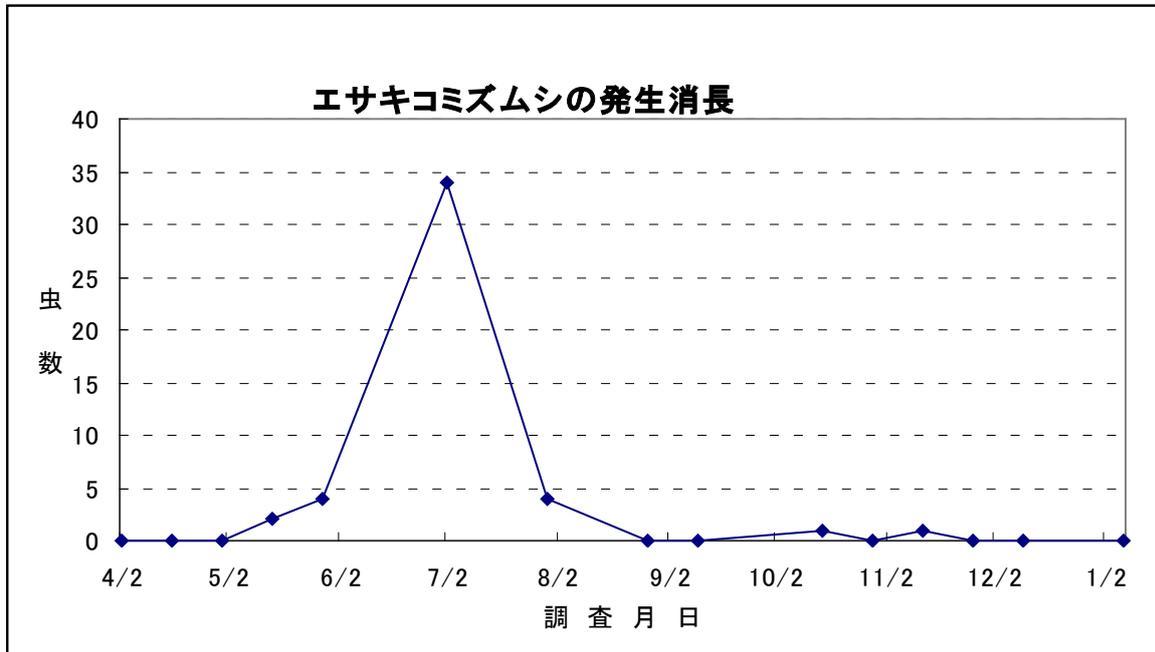
### 14、コマツモムシ

- ・ 発生ピークは、7月上旬と10月下旬～11月下旬の2回認められ、とくに後半の発生は多かった。
- ・ また、気温が下がった1月でも多くの個体が水中で泳いでいるのが確認された。
- ・ 場所別では、池の中央部が多く、ついで南側であった。



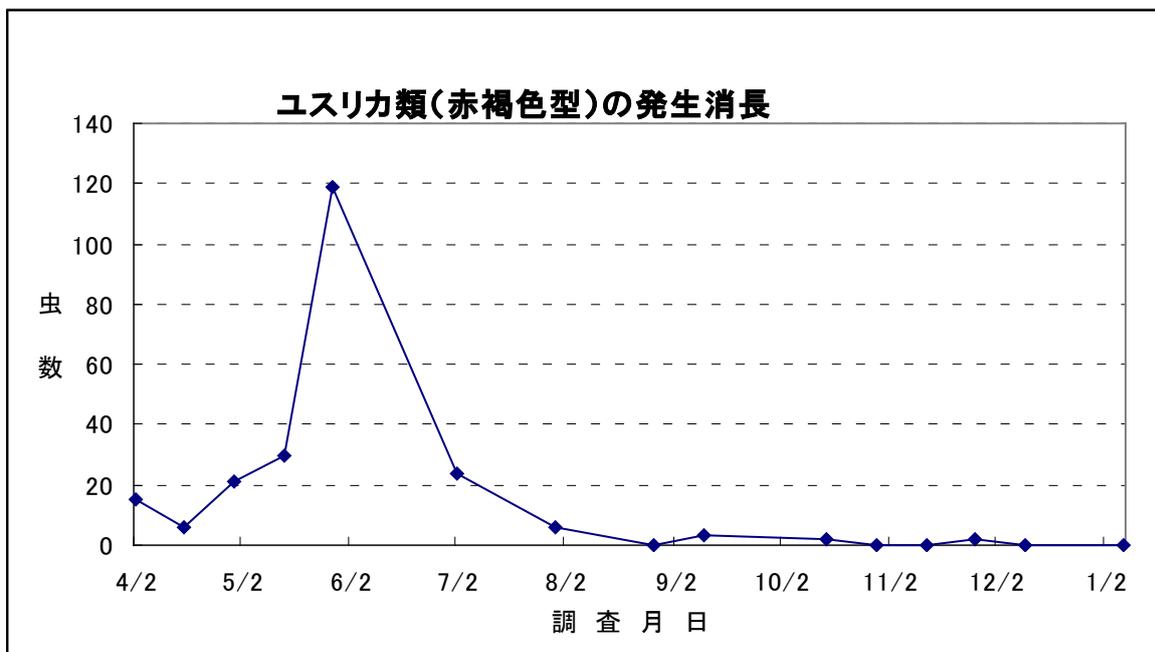
### 15、エサキコムズムシ

- ・ 発生の多い時期は前年と同様に5～8月で、秋季の発生は僅かであった。
- ・ 発生量は前年に比べるとやや多かった。調査場所別差異は判然としなかった。



### 16、ユスリカ類（赤色タイプ幼虫）

- ・ 前年同様に3月から発生が見られ、5月から増加し、6月にピークとなり、7月以降はほとんど見られなくなった。



#### 17、ユスリカ類（黒褐色タイプ幼虫）

- ・ 4～10月に僅か発生したのみであった。

#### 18、フタバカゲロウ類（幼虫）

- ・ 5～7月に少し認められたのみで、少なかった。

#### 19、トンボの幼虫（ヤゴ類）

- ・ イトトンボ類、ギンヤンマ類、アカネトンボ類のヤゴが少し見つかったのみであった。
- ・ 目視調査では、シオカラトンボ、シオヤトンボ、ショウジョウトンボ、イトトンボ類の成虫が少し見つかったのみであった。

#### 20、フサカ類幼虫

- ・ 7月の調査時にのみ見つかった。

#### 21、甲虫類

- ・ 種類数は僅か3種で、個体数も非常に少なかった。
- ・ イネミズゾウムシは7月2日、ヒメガムシは5月14日に見つかった。
- ・ ハイイロゲンゴウは、10～1月に若干発生し、寒くなった1月の調査においても水中で元気に泳いでいた。

#### 22、アメンボ類

- ・ 水面上を遊泳している生き物のアメンボ類は、ヒメアメンボ、ホソアメンボ、ヒメイトアメンボが見つかった。

#### 調査・とりまとめ担当者

景観グループ：ビオトープ池担当者

岡崎節子、木村 裕、小島武雄、  
羽尻 嵩、守口京子、山本妙子、

調査とりまとめ日

平成28年1月21日





どじょう

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南		1										1			
西															
北															
東								1		1					
中央															
計		1						1		1		1			

アメリカザリガニ

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南	1		1			3	1			3		1		1	1
西						1	1	1	3	3	1	8	7		
北			4			12	10	3	1	1	1	4	2	1	7
東	1					1	1	3	2		2	8	2	1	
中央						2			1	2		1			
計	2		5			19	13	7	7	9	4	22	11	3	8

ミナミヌマエビ

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南		1				29	2	12	16	70	87	141	21	6	25
西	1	1	7	1	4	48	35	3	138	32	43	172	33	30	104
北	1		6	1	6	49	33	66	81	69	12	51	75	29	
東		3	3	2	2	62	12	14	9	8	78	131	71	3	
中央			1		3	3	3	4	15	278	270	373	534	264	298
計	2	5	17	4	15	191	85	99	259	457	490	868	734	332	427

スジエビ

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南			4			1			3	15	5	1			6
西									11	2	2	3			1
北			2			1	1	30		5		2			
東			1			1	1	10	3	2	7	3			
中央										13	8	13			1
計			7			2	2	40	17	37	22	22			8

カワニナ

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南	6		1		1	2		1	1		7	11	15	14	31
西	1	3						3	13	1	28	40	111	40	17
北									1	1		1		4	4
東							1			1		6	2	19	8
中央										1	1	2	6		
計	7	3	1		1	2	1	4	15	4	36	60	134	77	60

タニシ

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南								1		2		1	1		
西			1						1	1	2		1		
北	2	1					1			1		2			
東												2			1
中央															
計	2	1						1	1	4	2	5	2		1

ハイイロゲンゴロウ

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南											3				4
西												2			
北															
東										1	1		4		
中央															
計										1	4	2	4		4

ミミズ類

月	4			5		7		8	9	10		11		12	1
	2	16	30	14	28	2	30	27	10	15	29	12	26	10	7
南	6	4	2	5	7	2	2	1		4			3	3	6
西	3	3	1	2	7				4	2		1		4	6
北		2	1	1	2	3	1			9					8
東	14	2	6	7	6	1			2	6		2	2	4	4
中央	3	2	5	2		4	1		1	2	1	1	2	1	2
計	26	13	15	17	22	10	4	1	7	23		4	7	12	

### 発生が少なかった種

生物名	調査日別、場所別、確認頭数
オタマジヤクシ	5/14 南・北各 1 頭、5/28 北・中央各 1 頭、7/2 南 4 頭
ヌマガエル	11/12 西 1 頭、9/10 水面の目視調査で 1 頭
シマヒレヨシノボリ	7/2 東 1 頭
ミズムシ類	4/2 場所不明 1 頭、4/16 西 1 頭
ヒメイトアメンボ	4/2 場所不明 1 頭
ヒメアメンボ	5/14 北 1 頭、7/2 南 1 頭
ヒメガムシ	5/14 南 1 頭
イネミズゾウムシ	7/2 西 1 頭
ホソアメンボ	7/2 東 1 頭
イトトンボ類ヤゴ	5/14 北 3 頭、5/28 西・北各 1 頭、
ギンヤンマ類ヤゴ	7/2 北 1 頭、
アカネ類ヤゴ	7/2 北 1 頭
オオミズムシ	7/30 東 2 頭、11/12 西 1 頭

### 水面上で目視した生き物

目 視 日	目視された生き物
4 月 30 日	イトトンボ類成虫：3 頭
5 月 14 日	イトトンボ類成虫：2 頭、シオヤトンボ成虫：1 頭、ヒメアメンボ、マツモムシ
5 月 28 日	シオカラトンボ成虫：1 頭、アメンボ類（大・中・小）：各 10～20 頭、マツモムシ
7 月 2 日	シオカラトンボ成虫：1 頭、ショウジョウトンボ成虫：1 頭、アメンボ類：10 頭
7 月 30 日	シオカラトンボ成虫：2 頭、ギンヤンマ成虫：1 頭、アメンボ類（大中小）
8 月 27 日	シオカラトンボ成虫：3～4 頭、アメンボ類：10 頭
9 月 10 日	シオカラトンボ、ナツアカネ、シオヤトンボ、ヌマガエル、アメンボ類
10 月 15 日	ヒメアメンボ：1 頭